

第3学年

3学年主任 渡部 裕也

1 学年経営目標(3年間を見通した指導を行う)

協働

～5年後の「自立」へつなぐ支援と包容～

2 学年目標

共生

～認め合い・自律・進化～

3 具体的な目標と取り組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取り組み
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着。 ・学習規律の定着。 ・話し合い、教え合いの活性化。 ・個別最適な学習の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからないと言える環境づくり。 ・個別最適な指導を念頭に、情報共有、学習支援や通級等と連携を行う。 ・主体的対話的で深い学びになるよう、班や少人数での話し合い・教え合い活動を中心に取り組む。 ・生徒自ら課題を見つけ、解決する活動を意図的に準備する。
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> ・自他を尊重する生徒の育成。 ・社会性の向上。 ・集団の一員として責任感をもつ。 ・自律した心を養う。 ・誠実な心を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会や帰りの会、清掃活動や係活動など、日常の学校生活の中で人としてのあり方、生き方、思いやりの心、礼儀を学べる機会を多くつくる。 ・学年で授業案を練り、検討し、授業の質の向上を図る。また、誰が授業をしてもよい状況にする。 ・学校行事を普段の学校生活の延長線上と捉え、行事をきっかけに集団の道徳性の向上や関係性の向上を図り、日常の生活につなげる活動とする。 ・計画的に人権学習に取り組む。
キャリア教育 (進路学習)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の言動が他者に及ぼす影響を理解する ・社会の一員としての自覚とともに、社会や大人を客観的にとらえる ・将来の夢の実現に向けて、現実の問題と関連付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の活動を通して、日本の伝統・文化に触れ、価値観を広げる。 ・修学旅行の活動を通して人と触れ合う体験をすることで、人とのつながり、社会とのつながりを体感する。 ・自分について考え、今後の人生を具体的にイメージし、その実現に向けて課題を解決する。

<p>生活指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会性の向上(SELの実践)。 ・善悪の判断、最適な行動の選択。 ・第三者からの評価と自己評価との誤差の減少。 ・自律性の向上。 ・誠実な心の成長。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の情報共有。 ・規律ある生活を生徒同士で作りに上げられるよう支援・指導を行う。 ・時と場に応じた態度や言動の必要性を理解させ、身につけられるようにする。 ・先入観をもたず、お互いフラットな心で生徒の話を親身に聞き、寄り添う。 ・自分たちで決め、自分たちで活動し、自分たちで振り返ることのサイクルを築き、日常生活を自治活動の場へと促す。 ・積極的な生徒指導を心がけ、先手をとるために、学年での情報共有を密にする。 ・家庭との連携を密にするために、普段の頑張りや良さをよく見る。 ・2人態勢で指導にあたる。
<p>特別活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題発見、解決能力の向上。 ・集団の振り返り(学期に1回)やアンケートの実施による課題発見、解決策の模索、実践。 ・自他を尊重する生徒の育成。 ・社会性の向上(SELの実践)。 ・集団の一員として責任感をもつ。 ・自律した心を養う。 ・自己肯定感の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◎リーダー指導、フォロワー指導の充実。 <ul style="list-style-type: none"> ・係活動を率先して行い、生徒が主体的に活動できるよう指導助言を行う。 ・生徒会・専門委員会・学級の連携を図り、委員会活動に係の活動がリンクさせる。 ・定期的な(2週に1回) 班長会の実施。 ◎小集団活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・全体に話し合いの仕方の指導を行う。 ・一日の生活の中に目標を持たせ、具体的に取組むべき事項をはっきりさせる。 ・最低月1回SEL-8の活動を実践する。 ・リーダー研修を実施する。 ・学校行事や学級会などを、自分で運営する。
<p>保護者との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の協力体制の構築。 ・学年の教育活動への理解の向上。 ・家庭の困り感の聞き取りや気軽に相談される学校の体制づくり。 ・親子が納得する進路選択。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の情報共有。 ・家庭連絡で良さも伝える。 ・家庭と密に連携し、生徒が自分の意思を伝えられるように指導する。 ・必要に応じて面談を組み、特別支援コーディネーターやカウンセラー、支援室と連携して対応に当たる。